

子供たちを「持続可能な地域社会の担い手」に

新潟県新潟市

活動名

新潟小学校学校支援地域本部

関係する学校名

新潟小学校

| | | | | | | | | | | |
|-------------|----------|----------------------------|-------------------|--------------------|---------------|--------------|-----------|------------|-----------------|--|
| 基本データ | 学校支援活動 | 統括コーディネーター数 0人 | 地域コーディネーター数 1人 | ボランティア登録数 307人 | 学習支援 有 | 開始年度 20年度 | 国庫補助 有 | ICT活用 有 | 企業・NPOとの連携 有 | |
| | 地域未来塾 | 統括コーディネーター数 | 地域コーディネーター数 | ボランティア登録数 | 子供の平均参加人数 | 開始年度 | 国庫補助 | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 | |
| | 放課後子供教室 | 統括コーディネーター数 0人 | 地域コーディネーター数 4人 | 子供の平均参加人数 79.6人 | 年間開催日数 59日 | 開始年度 16年度 | 国庫補助 有 | ICT活用 無 | 企業・NPOとの連携 有 | |
| | | 実施場所 | | 学習支援 | | 放課後児童クラブとの連携 | | | | |
| | | 体育館・グラウンド・ビオトープ・多目的ホール・図書館 | | 有 | | 連携型 | | | | |
| | 土曜日の教育活動 | 統括コーディネーター数 | 地域コーディネーター数 | 子供の平均参加人数 | 学習支援 | 開始年度 | 国庫補助 | ICT活用 | 企業・NPOとの連携 | |
| コミュニティ・スクール | 指定日 | | | | | 委員数 | 児童生徒数 | 学級数 | | |

体制図



活動の概要
 平成21年度から6年間、文部科学省研究開発学校として、新教科「環境コミュニケーション科」の開発を進めてきた。この取組で得た知見を基に、様々な教育活動を家庭・地域・関係団体と一体となって行うことで、子供たちの問題解決能力を高めるとともに、「持続可能な地域社会の担い手」として育てることを目指し、取組を継続・拡充している。
 ○保護者や地域住民だけでなく、地域の商店街組合や企業が各教科や総合的な学習の時間の学習支援に参画。
 ○各種事業の事務局を学校に置き、コーディネーターの連絡・調整の下、関係団体同士のつながりと主体性を尊重した事業運営。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 1 地元商店街組合や企業との連携・協働による地域活性化の取組～4年生総合的な学習「古町スイーツ」～
 ・子供たちが、地域活性化を目指して、新潟のよさをアピールするためにスイーツを考案。
 ・地元菓子店のパティシエがスイーツを形にし、地元商店街組合が多方面に宣伝、地元商業施設がPR活動と販売会場を提供。
- 2 関係団体が連携・協働し、世代を超えて交流するイベントを実施～「タンポポ盆踊り大会」～
 ・学校、地域教育コーディネーターが事務局となり関係団体と連絡・調整して所属の枠を超えた地域の一体感と教育力の活性を喚起。
 ・子供、保護者、地域住民が世代を超えて交流する季節の風物詩として定着。

【実施に当たっての工夫】

- 地元商店街組合、企業、パティシエ、そして学校が、企画段階から共に子供たちの学びを創造
- ・地元商店街組合が主となり関係者に声を掛け、企画段階から学校職員と綿密な打合せを実施。
- ・スイーツのアイデア立案、試食会、当日の販売まで、一貫した連携・協働による取組。
- ・学校広報官を置き、学校ホームページの公開や報道各社への働き掛け等の積極的な情報発信。
- 持続可能な事業への工夫
- ・地元社会福祉協議会からの助成と、関係団体からの寄附や場所の提供による定額・低予算の運営。
- ・学校が事務局となり、関係団体の役割分担を明確にした事業運営による有機的なつながりと有用感の発現。

● 事業を実施しての効果・成果

- H28 全国学力学習状況調査質問紙(35)「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」において、肯定的な評価が83%となるなど(新潟県73%・全国70%)、児童の地域や社会への関心が向上。
- H27 学校支援活動に関する意識調査において、取組が「児童生徒の学力向上につながっている」「社会性の育成につながっている」と答える教職員が96%以上となるなど、地域との連携・協働が児童の確かな学びにつながっていると実感。
- 参加した地域住民、関係団体・企業の方から、「ボランティアに参加することで、これまであまり関わりがなかった地域の人、団体同士のつながりができた。」という声が多数聞かれるなど、地域住民の教育への参画意識と地域力の活性化に寄与。

● その他

- 企業等との連携：新潟市中心商店街協同組合 新潟三越 地元菓子店(丸屋本店、イタリア軒、里仙、他4店) 新潟民謡連盟 万代太鼓集団「大和」
- 学習支援活動：学校支援活動として昼休み開設の「漢字の部屋」、放課後子供教室として宿題学習会を実施
- ICTの活用：「古町スイーツ」づくりで、販売チラシをパソコンで作成 ホームページで地域との連携・協働の様子を発信



地元パティシエとの企画会議



地域総出で盆踊り